

## <はじめに>

日常生活に使う器を自宅で作陶・焼成をしています。いわゆる陶芸です。

湯呑、コーヒーカップ、酒器、茶碗、急須、花瓶、植木鉢、仏具など様々。

陶芸を始めてから 28 年になりましたが、今は時間も十分あるので、急須のような手のこんだ器を重点的に取り組んでいます。

また、作品は世界中で一つならでのもので、自分流のオリジナル作品を目指して作品作りをしています。

作陶は夏期で週 3~4 回、冬期間で週 1 回手のトレーニング程度の作陶にとどめ、作品作りをしています。自分が考えていたとおりに、満足する作品が仕上がった時は至福の瞬間です。

工房で作陶するほかに、夏期は町内の方々と週に一回作陶しています。焼き上がった作品を手にした時の皆さんの喜びはひとしおです。

## <私の工房>



この部屋は私の作業場で、広さ 6 畳、電動轆轤・釉薬・作業台等を置き、作陶・釉掛けをしています。一人分の作業スペースとしては十分間に合います。

手前のタルは釉薬を溶かした容器です。

釣り具も所狭ましと並んでいます。

## <電気窯>



焼成は別室で 10kw の電気窯で行います

奥壁に配電盤と自動制御盤を取り付けています。

電気窯の定格は 10kw、窯内寸法は幅 45 cm、奥行き 48 cm、深さ 68 cm です。

一度に湯飲み茶わんが 120 個位焼成出来ます。

作品は上蓋を開けて、上から出し入れします。

焼成環境は素焼きで 800℃ 約 8 時間、本焼きで 1230℃ 約 18 時間です。

焼成回数は素焼き、本焼きとも合わせて年間 8 回位です。

### 本焼きのため電気窯に並べたところ



湯飲み茶わんとコーヒーカップが窯の中に入っている。  
周囲に点線のように見えるのは電熱線です。

### 焼きあがった作品



掛けた釉薬によって様々に発色します。。

<作品>

コーヒーカップ



一般的なカップは 130cc 前後ですが、コーヒー好きの我が家は 150~180cc と大きめです。もちろん、紅茶にも使えます。

ビールジョッキー



泡の恋しい季節には最適です。胴部の膨らみがいいですね。

湯呑茶碗



サイズ、形状などから様々な作品があります。底が丸いタイプのもの、平らなもの、轆轤の跡が残っているものなどその日の気持ちで使い分けします。

## 急須



この3年間で、形状、容量、色合いなどさまざまな急須を、75個作りました。

これは一部です。  
今年も継続中です。

## 大型急須



遊び心で作陶しました。  
ヒントはお茶屋さんの店頭飾られていた大型の急須です。

## 酒器



徳利とぐい呑み